

広報
清部学園

別府清部学園短期大学

- 別府清部学園短期大学
- 大分県歯科技術専門学校
- 別府清部学園高等学校
- 認定こども園ひめやま幼稚園
- ひらた保育園
- 寒田ひめやま保育園

祝 令和2年度(第56回) 卒業式典

短期大学教育功労者表彰(文部科学省) 理事長・学長 清部 仁先生

弓道部 第68回全日本学生弓道選手権大会出場

水泳部 2020年度大分県選手権水泳競技大会(個人1位)
第1回九州学生秋季公認記録会(個人1位)

驚くべきことに、徳川幕府の将軍十五人のうち、十四人までが天然痘に罹患しているのである。

聖武天皇と後の恐怖と不安は、察して余りある。そこで二人は、東大寺に盧舎那大仏を造ることを発願したのである。残念ながら、ジェンナーの種痘が発明されるまで、全世界で、天然痘は、猛威をふるった。

そこで、我が国の伝染病の歴史を調べてみたい。先ず第一が、天然痘だと思われる。周知のように、聖武天皇の後の兄藤原四兄弟が、天然痘で、全員死亡したのである。

このようなタイトルを考えた理由は、世界的に大流行しているコロナウイルスによる患者と死者が何故、我が国が少ないのかという単純な疑問からである。

二年間の努力が報われようやくゴールに着いた安堵感に十分に推察できることである。



卒業生諸君卒業誠におめでとう。

日本の感染症

学校法人 清部学園理事長
別府清部学園短期大学学長

清部 仁

衝撃的な感染力だと推察する。

コレラについては、コレラ菌が発見されるまで根絶はできなかったのである。

江戸時代は、天狗が持っている団扇を模してヤツデの葉っぱをお守りに使っていた。

ペストについては、十三〜十四世紀にかけて、ヨーロッパで大流行し、大惨事を引き起こしたといわれている。伝えられたところでは、四千万人の死者が出たと記録されている。我が国は、幸いにもペストの大流行がなく、明治に入って神戸で発生したが、北里柴三郎によってペスト菌が発見されたお陰で、二ヶ月で終息された記録されている。

さて、いよいよコロナIIインフルエンザの流行を見てみたい。

磯田道史氏によれば、享和二(一八〇二)年に大流行した『アンボン風』によって、現在報道されている風邪の症状がすべて記されている。文政四(一八二二)年『だんほう風』の時の記録では、

『だんほう風』が流行ったが、比較的

重傷にならなかったと、書かれている。

安政元(一八五四)年の風邪では、正月から二月まで、江戸で大流行して、その正月に黒船が入港していたので、『アメリカ風』と呼ばれていたと記されている。

これらのインフルエンザに使用されていたのが、漢方薬である。

葛根湯・麻黄湯・柴桂湯・小柴胡湯が、用いられ快癒したと記されている。『津軽風』には小柴胡湯が効果があつたと記されている。

この一年を振り返ってみると、まさに異例づくめであったといえる。ちょうど昨年のこの時期、新型コロナウイルスの初の感染者が大分県で確認された。未知の感染症に十分に対応法も知らず、社会全体が暗く沈み切っていて、本学においても、第五十五回卒業式実施の是非が問われていた。結果としてその実施は見送らざるを得なかったのであるが、卒業生諸君にとっては残念であつたことと思う。しかし、今年こうして規模を縮小しながらも第五十六回の卒業証書授与式が実施できることにうれしさを感じる。

今まで普通であつたことが普通でなくなり、普通に行われていたことが行えなくなったり、普通に感じていたことが普通として感じる事ができ

「アメリカ風」には、葛根湯と柴葛解肌湯が効いたと書かれている。これらの漢方薬は、今でもドラッグストアに行けば手に入る。これらの薬で、風邪を良くしていたとすれば、我々日本人の遺伝子に組み込まれている可能性は高い。実際、ノール賞受賞者の山中教授は、このような視点で、DNAを調べている、と報道されていた。これが分かれば、薬ではなくIPS細胞を人間の体に注入すれば、副作用もなく、コロナウイルスから解放されるのは、確実であろう。

一年を振り返って

コロナ禍の中で
新しい生活様式を求めて

短大部長 田邊 勲

この一年を振り返ってみると、まさに異例づくめであったといえる。ちょうど昨年のこの時期、新型コロナウイルスの初の感染者が大分県で確認された。未知の感染症に十分に対応法も知らず、社会全体が暗く沈み切っていて、本学においても、第五十五回卒業式実施の是非が問われていた。結果としてその実施は見送らざるを得なかったのであるが、卒業生諸君にとっては残念であつたことと思う。しかし、今年こうして規模を縮小しながらも第五十六回の卒業証書授与式が実施できることにうれしさを感じる。

今までは普通であつたことが普通でなくなり、普通に行われていたことが行えなくなったり、普通に感じていたことが普通として感じる事ができ

しかし、考えてほしい。新型コロナウイルスを根絶することはまだできてはいないといえ、ワクチンの接種も始まった。感染拡大を防ぐ生活様式も社会に認識され、実践することで感染者数を減らすこともできるようになってきた。やがてこの新型コロナウイルスもインフルエンザ並みの感染症になる日も来るに違いない。それは人々の叡智のなせる業であろう。あの2020年を乗り越えた日をこの卒業式に重ねて思い出す日が訪れるに違いない。

この一年はまさに耐える一年だったと思う。その耐える中で諸君は大切なことを学んできた。超えることができないと感じたことも力を合わせることで、知恵を出し合うことで、手段を変えることで乗り越えることができることを学んだ。会えないことでもかえってその存在の大きさ、大切さを心に刻むことができた。自分を律すること大切なるものを守ること身についた。困難こそ私たちが成長させるものなのかもしれないとも思う。社会に旅立つ諸君、この過ぎた一年を大切に心に抱いて、新しい生活様式の中で羽ばたくことを願う。

短期大学教育功労者表彰(文部科学省) 理事長・学長 清部仁先生

2020年10月23日(金)、昭和25年に短期大学教育制度が発足して今年で70周年を迎えたことを記念し、この度、短期大学の発展に顕著なご功労のあつた本学の理事長・学長 清部仁先生に対し、萩生田光一文部科学大臣から表彰状が授与された。

教養科目「経営学」の講義を40年にわたって受け持ち、独自の教科書執筆など丁寧な教育活動を心掛けてきた。介護従事者の社会的地位向上、留学生の修学にも積極的に取り組んだ。



2020年度
別府瀧部学園短期大学介護福祉学科に留学生コース開設

4月に留学生コースにパラミ アニタ
(ネパール)さんが入学。10月にグルン
アジア、グルン サンギタ、シャングタン

副学長・介護福祉学科 教授 瀧部 佳子

シャンティ、マガル スニタ(ネパール)
さんの4名が入学。11月9日にナン
スエイ、アウン コーウー、ソー



モートウエー、ナウ レイ レイ、ワ
ジョセフ(ヨルティッ アウンライン
タン)(ミャンマー)さんの5名が入学。
コロナ禍ということで、学科内で1・
2年の在学学生がその都度歓迎会を実施。
また、介護福祉学科の最大行事である
「ふくし・ふれ愛ひろば」にネパールの
学生たち5名が大正琴演奏の際に友情出演
ということでダンスを披露した。

令和2年度
第8期別府市介護保険事業計画等策定委員会

副学長・介護福祉学科 教授 瀧部 佳子

【第1回策定委員会】

(日程) 2020年7月29日(水)

(会場) 別府市役所 5階大会議室

(主催) 別府市高齢者福祉課

○議題

- (1) 委員長・副委員長の選任
- (2) 議事録署名委員の選任
- (3) 第7期事業計画進捗状況等について
- (4) 日常生活圏域の設定
- (5) ニーズ調査・実態調査の分析結果
- (6) 今後の審議日程
- (7) その他

【第2回策定委員会】

(日程) 2020年9月24日(木)

(会場) 別府市役所 5階大会議室

(主催) 別府市高齢者福祉課

○議題

- (1) 第7期事業の評価について
- (2) 第8期事業計画の概要について
- (3) その他

【第3回策定委員会】

(日程) 2020年12月25日(金)

(会場) 別府市役所 議会議棟

(主催) 別府市高齢者福祉課

○議題

- (1) 第8期老人福祉計画・介護保険事業計画の素案について
- (2) その他

令和7年(2025年)には後期高齢者が2,000万人を突破するといわれており、本市においても、同年に、後期高齢者が2,400人を超え、総人口に占める後期高齢化率は19%を超えると予測されています。また、後期高齢者の増加に伴い、要介護者や認知症高齢者も増加することが予想されています。

本市の高齢者人口は、令和2年10月1日現在39,307人で、高齢化率は、34.1%となっています。うち後期高齢者数は21,401人で、高齢者数の54.4%を占めています。高齢者数は、令和元年にピークを迎え、令和2年から減少し始め、微減傾向が続くと推計されていますが、介護ニーズの高い後期高齢者数は、今後増加し、令和7年(2025年)にピークを迎えると予想されており、第8期介護保険事業計画期、第9期介護保険事業計画期は、介護ニーズがピークになると予想されています。その後、後期高齢者人口の減少とともに介護ニーズは減少しますが、同時に現役世代の人口減少も起り、介護を支える人材不足も生まれると予想されています。

このような中、高齢者が住み慣れた地域での生活を継続するために、平成30年に「地域包括ケアシステム」の強化のための介護保険法等の一部を改正する法律が成立し、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図る

とともに、介護保険制度の持続可能性を確保することに配慮し、「地域包括ケアシステム」の推進をさらに充実させていくこととなりました。

また、令和元年6月に策定された認知症施策推進大綱の理念等も踏まえ、本市の高齢者を取り巻く地域資源や地域特性から、本市の「地域包括ケアシステム」の深化を進めていく必要があります。

さらに、現役世代人口が減少する中で、社会活力の維持向上のためには、高齢者の多様な就業・社会参加、健康寿命延伸、医療・福祉サービス改革への取り組みが求められています。

本市の第8期介護保険事業計画では、令和7年(2025年)及び令和22年(2040年)を見据え、これらの諸課題についても、長期的な視野を持ち、計画策定を行うこととします。

令和2年度 (公社)日本介護福祉士養成施設協会
第1回 教育力向上委員会

副学長・介護福祉学科 教授 瀧部 佳子

(日程) 2020年8月24日(月)

(会場) 日本介護福祉士養成施設協会(オンライン開催)

(主催) 日本介護福祉士養成施設協会

○議題

- (1) 介護教員講習会について
- 令和2年度介護教員講習会の実施について
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けての開催方法の検討について
- 学力評価試験について
- 令和2年度学力評価試験の実施について

全国教職員研修会について
令和3年度全国教職員研修会の実施について
社会福祉推進事業の実施について
こくみん共済coop事業の実施について
その他

日本介護福祉士養成施設協会鈴木利定 担当副会長・野田由佳里委員長・白井幸久 副委員長を中心に、九州ブロック代表委員として参加した。

今回の中心議題は、「令和2年度社会福祉推進事業の国庫補助協議について」で

令和2年度
第2回 東海北陸ブロックZOOMミーティング

副学長・介護福祉学科 教授 瀧部 佳子

(日程) 2020年8月25日(火)

(会場) 聖隷クリストファー大学社会福祉学部

(主催) 日本介護福祉士養成施設協会 東海北陸ブロック

○議題

- ① コロナ禍における対応
- ② 学内演習の情報収集
- ③ 学生の罹患報道から
- ④ 実習先調整
- ⑤ 本学における学内演習の準備状況
- ⑥ グループワーク
- ⑦ 情報交換
- ⑧ 【授業の工夫】5月連休明けよりオンラインによる授業を実施しているが大学が多く、

6・7月から一部演習・実技系の授業を対面で実施。あるいは、前期は全授業オンラインで行い、対面で行う単元はシラバスを変更して秋学期に実施する。秋学期は通学による授業を予定しているところが多い。始めから20名以内であれば対面授業が可能な大学もある。通学機会をできるだけ少なくしながらも、演習に取り組んでいた。対面授業の方法としては、3蜜を防ぎ、手指や実習着、使用器具、使用教室等の衛生管理を徹底し、【今後の課題】入学後の学習において、オンライン授業、ITCの活用等に関して、学生の中には不得手な学生もあり、学習への意欲や授業への参加や課題の提出が

令和2年度
おおいた介護人材確保対策・現場革新検討部会

副学長・介護福祉学科 教授 瀧部 佳子

(日程) 2020年9月15日(火)

(会場) 大分県社会福祉介護研修センター

(主催) 大分県高齢者福祉課

○議題

- (1) 大分県における介護人材の状況について
- ① 高齢者等の現状と将来推計
本県の65歳以上の高齢者人口は、令和元年10月1日現在369,314人と
なっている。65歳以上の人口の総数は、令和7(2025)年をピークに
減少し、介護従事者が約1,600人
不足すると推計されている。
- ② 介護サービス事業所における従業員の
雇用状況
雇用側において従業員の不足感が高
なっており、約7割の事業者が不足感
を感じている。特に、不足感が高いの
は介護職員であり、大分県では介護事

大きな差異があり、大分県は全国で最も低い状況である。

③ 介護職員の推移
本県の介護職員数は、平成30年時点で24,212人となっている。団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に
かけて、本県における高齢者人口が
ピークを迎える一方で、生産年齢人口
は減少し、介護従事者が約1,600人
不足すると推計されている。

④ 介護サービスの事業所における従業員の
雇用状況
雇用側において従業員の不足感が高
なっており、約7割の事業者が不足感
を感じている。特に、不足感が高いの
は介護職員であり、大分県では介護事



あった。以下に詳細を記す。

○令和2年度社会福祉推進事業国庫補助協議額調査
(事業名)
介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業
(事業概要)
介護教育内容の充実及び教育力向上の観点から、教員への研修内容のあり方に関する調査・研究を行い、研修プログラム(教材・ツール)を作成する。作成した研修プログラムは、研修事業(全国教職員研修会、ブロック研修会等)等において研修会を実施するとともに、作成した教材やツールを広く活用できるようにする。

(国庫補助協議額) 15,000千円

⑤ 業所の7割強が不足を感じている。
介護職員の採用率・離職率の状況について
本県の介護職員の採用率・離職率は年により変動が大きく変動している。

⑥ 介護の仕事の離職理由について
介護の仕事の離職理由の上位として、「結婚・出産・妊娠・育児のため」が23.7%、「職場の人間関係の問題があったため」が17.7%となっている。

⑦ 仕事の満足度については、「仕事の内容・やりがい」、「職場の人間関係、コミュニケーション」では高いものの、「賃金」、「教育訓練・能力開発」、「人事評価・処遇のあり方」では低くなっている。

⑧ 介護職の月額平均賃金について
大分県の介護職の月額平均賃金は、全産業に比べると差があるものの上昇傾向にある。

(2) おおいた高齢者いきいきプランについて
【おおいた高齢者いきいきプラン】
【介護人材の確保・育成】

令和2年度大分県学校給食振興大会・大分県食育実践研修会講演報告

会期：令和3年1月28日(木) 会場：大分県庁舎本館正庁ホール

食物栄養学科 教授 望月 美左子

令和三年一月二十八日に、学校給食や食育について理解を深める大分県学校給食振興大会・大分県食育実践研修会が県内教職員ら四十名参加のもと開催されました。令和二年度学校給食優良学校等の表彰に引き続き、武庫川女子大短大部幼児教育学科藤本勇二准教授が「主体的・対話的で深い学びをつくる食の授業」と題してオンラインによる講演を行った後、大分県教育庁体育保健課

おいいた食の目イベントRoof top 食育フェスタ講演報告

会期：令和2年11月15日(日) 会場：大分市J・COMホール大分

食物栄養学科 教授 望月 美左子

十一月十九日の「大分食(ごはん)の日」を含む一週間は「おいいた食育ウィーク」として、食育の推進に関する普及啓発を図るための行事が重点的に行われます。令和二年十一月十五日にJ・COMホール大分三階大分三階駅南屋上公園において、おいいた食の日イベント「Roof top 食育フェスタ」が開催されました。当日は好天に恵まれ、感染対策として検温、手指消毒入場、人数限定(要事前予約二百名)で実施されました。

このフェスタでは、講演会やセミナーに加えて、朝ごはんボックスの配付や

2020年度ファッションビジネス学会全国大会参加報告

会期：令和2年11月14日(土) 幹事校：香蘭女子短期大学

ライフデザイン総合学科 教授 高野 弓枝

ファッションビジネスを学問として体系的に研究する者が日本全国より集まり、研究成果の発表を行う学会が開催された。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、オンラインで全国大会が開催され、ファッションビジネス学会としては初めての試みであった。

令和2年度の大会テーマは「ファッションビジネスとニューノーマル」であり、第三期ニューノーマル時代を

食育をテーマに多くの学生が卒業研究を行っており、学生自らを取り組んだ研究成果を交えての話も盛り込みました。特に今年の卒業研究では、大分県内の給食施設での大分県産食品使用の状況調査を行ったことから、その結果を踏まえて実態紹介も行いました。この活動を通して、学生は、学校、病院、高齢者施設、幼稚園、保育園やこども園などにおける給食施設での食材発注の難しさや食育の大切さについて理解を深めることができました。この講演を通して本学の活動の様子を広く紹介することができたことから、今後多くの給食機関と本学との連携が進むことを期待しています。

普及レシビ、食事バランスガイド折り紙などを展示説明して参加しました。

大分県栄養士会・大分県スポーツ栄養研究会代表 銅城順子先生によるセミナー「スポーツをするジュニア期の食事について」では、スポーツをするジュニアが、食事や栄養素について注意すべき点などのお話がありました。



され、パネリストとしてFashion Links代表の福永成明氏、香蘭ファッションデザイン専門学校の深田勝久氏、文化ファッション大学院大学の首藤 眞一氏、杉野服飾大学の五月女由紀子氏、神戸国際大学の山本 ひとみ氏が登壇し、「ファッションビジネスとニューノーマル」というテーマのもと「今後のファッション教育と人材育成」「SDGs「エシカル」「ECビジネス」といったキーワードを中心に討論が行われた。シンポジウム・研究発表共に活発な意見交換がなされ、ファッション教育振興の一助となる有益な学術研究会であった。

「豊の七瀬柿のドライフルーツ」初めての店舗販売

食物栄養学科では、地域貢献活動として平成30年度よりJAおおいたと柿農家と連携して、普及活動を行っており、3年目の今年はより具体的な活動を計画・実施してきました。ひとつの成果として、令和2年11月大分市を中心としたJA直売店(花野果・陽だまり)で「七瀬柿のドライフルーツ」と名付けた商品が一般消費者に向けて販売することができました。学内で製造および包装した加工品で、これまでに数回、農林祭などのイベントで学生による対面販売を行ったことがありますが、店頭販売は初めての試みでした。約200個程度の試験販売ではありましたが、2週間程度では完売したとのこと、手応えを感じることができました。



留学生の活動報告

ライフデザイン総合学科 日本語コース 曲穎

今年卒業する留学生は2019年に別府溝部学園短期大学に入学して以来、別府市や大分県の様々なイベントやボランティア活動に参加させていただき、その中でも、特にラグビーワールドカップ2019で外国人のお客様を客席に案内するボランティアを行ったり、亀川小学校の子供たちのために中国の影絵芝居を

演じたり、中国の小学生と日本の小学生の文化交流のために通訳をしたりしたことが印象に残っています。また、ワールドフェスタ、募金活動、学園祭などを通して、大分県の方々に世界の文化を知ってもらったことがありました。これらの活動を通じて、自分を鍛えるだけでなく、国際交流の重要性も理解することができた貴重な経験となりました。



日本情報処理検定協会主催 検定試験4冠・3冠獲得

ライフデザイン総合学科

4冠：増田 雛 (ファッションブライダルコース2年)
3冠：岩崎琴音 (グラフィックデザインコース2年)
高瀬息吹 (グラフィックデザインコース2年)
室 良枝 (ファッションブライダルコース2年)

ライフデザイン総合学科の学生が日本情報処理検定協会主催の検定試験(試験地：本学)において、4種目および3種目で1級を取得し、検定委員長賞を受賞した。

学生たちは短期大学に入学した令和元年または高校時代から継続して検定試験に挑戦し、日本語ワープロ検定試験、情報処理技能検定試験(表計算)、文書デザイン検定試験、ホームページ作成検定試験、プレゼンテーション作成検定試験などの検定試験1級に合格、4名が検定委員長賞(3種目1級以上合格)を受賞した。(令和3年1月31日現在)

3冠獲得するまでの道のりはさまざまであった。最短で、3回の挑戦ですべて1級に合格し、3冠を確定する学生もいれば、自分のレベルに合った級から挑戦を始め合格を積み重ねていき7回目の合格で3冠を確定する学生もいた。放課後などの時間を活用し、過去問や問題集に没頭する学生や、情報の授業の選択科目を受講して、3冠挑戦を表明し、見事勝ち取る学生もいた。

今回は4名が検定委員長賞の受賞となったが、このパトンを後輩たちが繋ぎ、引き継いでくれると期待する。学生たちの多くは大分県内での就職を予定しており卒業後は、別府溝部学園短期大学で身に付けた技能を活かし、地域に貢献することが期待される。



別府溝部学園短期大学 公開講座 オープンカレッジ2020実施

別府溝部学園短期大学ホームページから申し込みます ページみぞへ 検索

本年度も、新型コロナウイルスの感染予防のために検温、消毒、マスク着用、3密防止等に留意しながら、本学が保有する専門的、総合的な教育・研究機能を地域社会に開放し、地域住民の生涯学習のニーズに応え、地域文化の向上に資することを目的として公開講座を件数を減らして実施しました。

開設された講座は、
別府溝部学園短期大学会場

- 1「魔法のパン屋さん」アンパンマンとカレーパンマンそして温泉プールで遊ぼうね！、2親子で作ろう！世界で一つだけのピカピカ泥だんご、3まちづくりと景観（正規授業の一般公開）食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、4温泉学～別府温泉の魅力、温泉活用法を学ぶ～（正規授業の一般公開）食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、5大分学～おんせん県おおいたをまるごと学ぼう～（正規授業の一般公開）食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、6大分大作戦～part3～別府の温泉と湯けむり文化、7大分大作戦～part4～九重発！大自然と里山に沸く温泉を満喫、8温泉文化と活用（正規授業の一般公開）食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、9ハンドベル講座～アドバンスコース～、10ハンドベル講座～ビギナーコース～、11愛と信頼の教育～ボルノ教育学入門編～、12愛と信頼の教育哲学と詩、13収穫の秋を味わおう、14おせち料理と一緒に作りませんか？、15お魚さばき講座、16幼児のためのワンプレートランチ、17たのしい薬草講座

J:COMホルトホール大分

- 1大友宗麟ゆかりの西洋文化とその後の行方～長崎・生島島の折り「おらしよ・歌わらしよ」から豊後キリシタンの実態を探る～、2フラワーアレンジ

参加者は幼児から高齢者まで、幅広い年齢層で延べ359名に達し、和気あいあいの中、有意義な時間を共有していました。



第15回読書感想文コンクール

【読書感想文の部】

最優秀賞

入田恵里子（幼教一年）

「なぜ若者たちは笑顔で飛び立っていったのかを読んで」

優秀賞

井本 輝乃（介護一年）

「サッカーボーイズ」を読んで

廣石 侑美（幼教一年）

「手のひらの赤ちゃん」を読んで

池田 優香（幼教一年）

「そのままでいい」を読んで

佳作

石田 椋子（ライフ一年）

「命の天秤」を読んで

岩崎佐和子（幼教一年）

「23分間の奇跡」を読んで

渡邊 希朋（幼教一年）

「心の中はいつでも一緒」を読んで

村松 愛子（幼教二年）

「花ちゃんのみそ汁」を読んで

日高 実々（幼教二年）

「アシュリー」

「All About Ashley」を読んで

【ポスターデザインの部】

最優秀賞

江藤日向葵（ライフ二年）

注（ライフデザイン総合学科・幼教Ⅱ幼児教育学科・介護Ⅱ介護福祉学科）

ライフデザイン総合学科・食物栄養学科
幼児教育学科・介護福祉学科

4学科合同就職ガイダンス

～令和2年度就職支援課年間計画～

【就職ガイダンス】

第一回 就職ガイダンス

「就活に必要な証明書の書き方・履歴書の書き方作文等」
講師/ライオン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象
日時/令和2年4月4日（土）9時30分～11時

第二回 就職ガイダンス（キャリア教育）

「就活に必要なマナー講座・面接編」
講師/ライオン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科、幼児教育学科の各2年次生対象
日時/令和2年5月30日（土）9時30分～11時

第三回 就職ガイダンス

「就職活動のベースメイクと身だしなみについて」
講師/ライオン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科の各2年次生希望者
日時/令和2年6月23日（火）9時30分～11時

第四回 就職ガイダンス

「志望動機・自己PRの書き方について」
講師/ライオン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各2年次生対象
日時/令和2年7月4日（土）9時30分～11時

第五回 就職ガイダンス

「就活のための正しい着こなし・みだしなみ講座」
講師/ライオン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象
日時/令和2年10月3日（土）9時30分～11時

第六回 就職ガイダンス

「就職活動のノウハウを学びましょう」
講師/ライオン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象
日時/令和2年10月31日（土）9時30分～11時

第七回 就職ガイダンス

「性格検査・一般常識テスト」
講師/ライオン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象
日時/令和2年11月11日（土）9時30分～11時

第八回 就職ガイダンス

「就職活動のノウハウを学びましょう」
講師/ライオン総合学科1年次生対象
日時/令和3年2月8日（月）9時30分～11時

キャリア教育講座

～学生のための教養講座～

【ライフデザイン総合学科】

第一回 キャリア教育講座

「接客マナー・ボイストレーニング」
講師/元NHK大分放送局アナウンサー
日時/令和2年5月28日（火）12時50分～14時20分

第二回 キャリア教育講座

「アパレル業界の業務内容について」
講師/株式会社ワールドパートナーズ
日時/令和2年7月18日（水）9時～10時30分

第三回 キャリア教育講座

「学外研修「フリースタイル」の業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第四回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第五回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第六回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第七回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第八回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第九回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第十回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第十一回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第十二回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第十三回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第十四回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

第十五回 キャリア教育講座

「フリースタイルの業務内容について」
講師/株式会社大分モノリス
日時/令和2年12月21日（月）13時～15時

【食物栄養学科】

第一回 キャリア教育講座

「LEOC 会社説明会」
講師/株式会社LEOC人材採用本部
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第二回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第三回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第四回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第五回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第六回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第七回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第八回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第九回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第十回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第十一回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第十二回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第十三回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第十四回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第十五回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

第十六回 キャリア教育講座

「給食管理実習（学外）報告会」
講師/食物栄養学科1・2年次生対象
日時/令和2年10月16日（金）14時30分～17時40分

水泳部



感謝

私が大分に来た理由は水泳でした。結果を出しては挫折しての繰り返しで、高校を卒業したら辞めようと思っていた水泳も、沢山の人ののおかげで大学でも続けることができました。見知らぬ地で上手くいくのか不安でいっぱいでしたが、陶山先生、先輩二人が温かく迎え入れてくれました。練習中での陶山先生の言葉で頑張れて、辛い練習も互いを高め合える存在がいて、顧問が陶山先生であつたからこそ、日本学生選手権に出場することができました。私をやる気にさせてくれた先生。負けたくない。勝ちたい。と思わせてくれた先輩方。本当にありがとうございました。

二年生になり、一人の後輩を迎えました。コロナ禍で練習が出来ない中、大会も例年とは違い、混乱はありましたが、切磋琢磨して練習することができました。「挫折して励まし合う。努力すれば報われる。」と私は、水泳を通して学びました。別府溝部学園短期大学の水泳部に入れて私は幸せです。二年間ありがとうございました。

主将 金子 葵



弓道部



弓道部の5年間

主将 森 悠陽

私は兄の影響で高校入学と同時に弓道を始め、自分が成長するために弓を引きたい！弓道をもっと続けたい！と思い、別府溝部学園短期大学に入学しました。

高校時代に弓道の大会で九州大会準優勝という成績をもっており、絶対勝てるという自信がありました。しかし、入部してすぐの大会で私よりすごい綺麗な射をしていて的中率も高い大学に圧倒されました。私はその大会後、今までただ自分が雑に弓道をしていただけだと反省しました。その後、高校時代の顧問から練習で言われたことを思い出して自分の射を見つめ直したり、弓道部の仲間とできてない所を聞いて直しました。その甲斐あって、的中率が上がったり、自分の納得のいく射ができました。

5年間続けた弓道で学んだことは、高い集中力はもちろん、仲間と協力する力も身につきました。これからは学んだことを活かし、これまで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、私らしく頑張っていきたいです。



スポーツ大会

10月29日木曜日、秋晴れの中、毎年恒例の「短大歯科合同スポーツ大会」をべっぴアリーナにて開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止策として学生の密を防ぐため、午前競技（ドッジボール・バドミントン）と午後競技（バスケットボール・バレーボール）と時間を分け実施しました。それに伴い、各学科対抗で行われていたリレー競技は実施できませんでしたが、アリーナ内を広く利用し各種目大いに盛り上がっていました。

午前午後それぞれで行った簡易閉会式では実行委員長である短期大学姫山会会長の江藤未来さんが各競技の上位3位までを表彰しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で学園祭も中止になり、学業以外の学生同士の交流も限られた年度ではありましたが、与えられた環境で十分に学生間や教員間との交流が図れたのではないかと感じた一日でした。

各競技入賞したのは以下の通りです。

◇バスケットボール

男子：1位 留学生 2位 介護 3位 食栄
女子：1位 幼教2年 2位 食栄 3位 幼教1年

◇バレーボール

1位 幼教2年A 2位 食物A 3位 留学生B

◇ドッジボール

1位 幼教2年 2位 歯科 3位 介護
敗者復活 幼教1年B

◇バドミントン

1位 食物B（田中・宮城） 2位 歯科F（恵良・佐藤）
3位 歯科G（淵上・宮本）



学生は感染拡大防止策として適宜マスクを着用し実施した

ハンドベルリンガーズ年間活動報告書



顧問 山香陽子

本学のハンドベルリンガーズは、平成5年、故名誉学長相良好仁先生よりイングリッシュハンドベルを寄贈され、顧問の大塚豊子教授御指導の下、サークルとして約30年、学内に限らず学外でも精力的に活動が行われてきました。今年度より、新任の山香陽子が引き継がせていただきました。今年はコロナの影響を受け、在学生による活動が実質的に困難でありました。毎年のようにご依頼頂く大分空港のクリスマスコンサートも、大塚先生、OGの方々のお力添えを頂き演奏披露の予定でしたが、コロナ感染拡大により、残念ながら中止せざるを得なくなりました。

コロナに翻弄された一年でしたが、学園の宝物であるハンドベルの活動がコロナに負けることなく、在学生が積極的に参加できるよう安全対策を行いながらまた楽しく皆さんにご披露できる日を心待ちにしながら力を尽くして参りたいと思います。至らぬ点もあるかと思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

留学生による『地域貢献・国際交流』

コロナ禍で今年度は学園行事や地域行事が軒並み中止となる中、留学生奨学生が中心となり、「今、何ができるのだろうか？」と話し合いをし、「5か国語による手洗い動画」の作成を実施した。

『5か国語による手洗い動画』は英語・中国語・ネパール語・シンハラ語・ヒンディー語で作成、大分市国際課や本学国際交流課のSNSに掲載をし、「正しい手洗いで感染症予防をしよう！」と呼び掛けた。

また、2020年11月4日～11月26日に大分市国際課主催の『おいたワールドフェスタオンライン』があり、ネパール、中国、スリランカの学生が参加をした。ネパールの学生は「ネパール語の紹介」と「英語での絵本読み聞かせ」、中国の学生は「切り紙」の紹介、スリランカの学生は「おいしいスリランカチキンカレー」のレシピと作り方を紹介した。参加した学生からは「オンラインだったが、自国の文化を紹介することができて楽しかった」という声があった。

今後も「今、何ができるのか？何が求められているのか？」を考え、『真の国際人』として地域貢献や国際交流に積極的に参加していきたい。



56th FASHION SHOW SENSATION



今年のテーマは「eccentric」一人一人の個性と自我を活かした作品やシンデレラや映画マイフェアレディーをイメージさせる衣装、日常では着ることのない斬新なファッションを考案し製作した作品等が披露されました。

学生達はこの1年、衣装製作はもちろんのこと、ウォーキングレッスンをはじめ、舞台構成やBGMの選択、衣装以外のアイテムの選択、アクセサリ、メイク、ヘアデザインに至るまで試行錯誤を重ねて参りました。

本学のファッションショーは、自らを研鑽する中で生み出されたトータルコーディネート作品の結晶と言っても過言ではないと思います。

会場はコロナ禍にも関わらず、県内の高校生や就職先の関係者の方々、保護者の方々、卒業生等の観客で埋め尽くされ、大盛況でした。

コロナ禍で不安と緊張感で一杯だった学生達でしたが、斬新なファッションでランウェイでポーズを決めていく姿に胸が熱くなりました。

令和3年2月5日(金)18:00~19:30 ライフデザイン総合学科ファッションブランドコースの学生達によるファッションショーが、新型コロナウイルスの感染予防のために検温、消毒、マスク着用、3密防止等に留意しながら、大分市のJ・COMホールトホール大分・小ホールで開催されました。



令和2年11月21日(土)、第13回食料コンテストを開催した。今回のテーマは、「#Lunchコンテスト」幼児のための楽しみワンプレートランチ。

コンテストは、幼児のための楽しみワンプレートランチ(後援...全国栄養士養成施設協会、大分県、別府市、大分県栄養士会等)。幼児の成長と健康への理解を深め、幼稚園や保育園等で実際に利用していただけるワンプレートランチを考案することを目的とした。

例年、学内だけでなく県内の高校生等に出品いただくが、本年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本学学生のみを募集対象とし、検温や消毒等、感染対策を徹底して開催した。

7点の作品が、8名の審査員による調理およびプレゼンテーションの最終審査に進んだ。作品はどれも、テーマに沿った栄養たっぷりの華やかなものばかりであった。そのなかで最優秀および大分県栄養士協会賞を受賞したのは、「(チーム名) エンゼルハイツ」の「野菜たっぷりワンプレート」。

内容は、おにぎり、イワシコロケ、野菜キッシュ、かぼすの和え物、さつまいもの甘煮といった、子どもたちの好きなものばかり。子どもの苦手とされる魚(イワシの水煮缶詰)の生臭さを消してからコロケに入れる等、様々な工夫がなされていた。

運営は、すべて学生がこの日のために準備を進め、当日もスムーズに実施した。大分県栄養士協会より乾杯、大分県カボス振興協議会よりカボスを提供いただき、昼食は学生が調理して大変好評であった。

また、学長による最優秀賞のみならず、認定こども園みやま幼稚園の園児が選ぶ「園児賞」等、様々な後援団体から特別賞を提供いただいた。また、審査員として県内保育園関係者等から支援を賜ったことで、出品者の努力が認められ、次へ繋がるコンテストとなった。

本学学生にとって、児童福祉施設は重要な就職先である。就職してから子どもたちに「食育」は生きていること」といった食育の基本を伝えていってほしい。

#Lunchコンテスト 幼児のための楽しみワンプレートランチ



第13回 別府溝部学園短期大学 食物栄養学科

#Lunchコンテスト

幼児のための楽しみワンプレートランチ

第40回子どもたちのためのミュージックカーニバルを例年であれば大分市、別府市の2会場で開催する予定でしたが、コロナウイルス感染症のために、やむなく、来年度に延期をしました。しかし、総合表現で取り組んだ内容を発表する機会を12月7日に85年館多目的ホールで設けました。コロナ対策に配慮しながら、準備を行い、ひまわり幼稚園の園児たちも観覧することができました。

溝部 仁学長、溝部 佳子副学長の挨拶をいただき、開演となりました。

オープニングは1・2年合同の「ボディーパーカッションとひまわりブランダン」。

1年の演目はテーマ「世界旅行へしゅっぱーっ!!」ナナイロファッションショー。

世界の広さ、面白さ、未知なるものや多様性に触れる楽しさを表現しました。外出等に制限がある今だからこそ、こどもたちが世界と触れ合う機会となるよう願いました。

2年の演目はテーマ「三太郎物語」全集中!! 悪いウイルスをやっつけろ!!

桃太郎、金太郎、浦島太郎が繰り広げるスベクタクルストーリー。鬼に脅かされる現代にタイムスリップした三太郎が自分の時代へ戻るため、力をあわせて鬼に立ち向かう!!

愛と衛生に満ちた感動と情熱の物語でした。ハンドベルの演奏もありました。

フィナーレは1・2年合同で、実行委員長 江藤未来さんの挨拶の後「スマイル・キラキラ輝く明日へ」を合唱して終演となりました。

最後に副学長から講評をいただき、無事にすべて終了することができました。

総合表現発表会



第40回子どもたちのためのミュージックカーニバルを例年であれば大分市、別府市の2会場で開催する予定でしたが、コロナウイルス感染症のために、やむなく、来年度に延期をしました。しかし、総合表現で取り組んだ内容を発表する機会を12月7日に85年館多目的ホールで設けました。コロナ対策に配慮しながら、準備を行い、ひまわり幼稚園の園児たちも観覧することができました。

溝部 仁学長、溝部 佳子副学長の挨拶をいただき、開演となりました。

オープニングは1・2年合同の「ボディーパーカッションとひまわりブランダン」。

1年の演目はテーマ「世界旅行へしゅっぱーっ!!」ナナイロファッションショー。

世界の広さ、面白さ、未知なるものや多様性に触れる楽しさを表現しました。外出等に制限がある今だからこそ、こどもたちが世界と触れ合う機会となるよう願いました。

2年の演目はテーマ「三太郎物語」全集中!! 悪いウイルスをやっつけろ!!

桃太郎、金太郎、浦島太郎が繰り広げるスベクタクルストーリー。鬼に脅かされる現代にタイムスリップした三太郎が自分の時代へ戻るため、力をあわせて鬼に立ち向かう!!

愛と衛生に満ちた感動と情熱の物語でした。ハンドベルの演奏もありました。

フィナーレは1・2年合同で、実行委員長 江藤未来さんの挨拶の後「スマイル・キラキラ輝く明日へ」を合唱して終演となりました。

最後に副学長から講評をいただき、無事にすべて終了することができました。



令和元(令和2)年度 介護福祉学科

ふくし・ふれ愛ひろば 地域・ふれ愛ひろば

介護人材育成と地域貢献を目的として、介護福祉学科発足当初より取り組んでいる「ふくし・ふれ愛ひろば」が、今年度も開催されました。今年度も昨年度と同様、地域の高齢者を対象とした「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」と県内の高校生を対象とした「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」の2回開催しました。

参加した高校生や地域の高齢者に、介護の素晴らしさや食生活の重要性について披露しました。

1回目 「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」

(日時) 令和2年11月7日(土)

午前9時~13時

(場所) 福祉介護棟

(対象者) 1階介護実習室 2階介護2教室 学内関係者6名 卒業生8名

2回目 「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」

(日時) 令和2年11月14日(土)

午前10時~14時

(場所) 福祉介護棟

(対象者) 1階介護実習室 2階介護2教室 留学生10名 学内関係者13名

テーマを「ほんわか介護くん」と決め、「ほんとうにわかっている介護」の必要性を視覚・聴覚に訴えた。オープニングは学生と教員による大正琴演奏から始まり、統括・劇・レクリエーション・食事班に学生が分かれ、各班ともに福祉・介護の魅力が伝わるよう参加者自らが体感できる企画を盛り込んだ。また対象者の特性に合わせた内容とするために、学生が自主的・主体的に取り組んだ。

1・2年次生、今年度から新たな留学生コースの学生も加わり、協働で一つの大きな行事を成し遂げた。このことは学生たちにとって貴重な体験となり、今後の学生自身の成長や自信へと繋がるのではないだろうか。

幼児教育学科 学外（内）研修

2020年9月25日（日）

場所：別府溝部学園短期大学内

例年、県内外の学外で実施してきた幼児教育学科の学外研修も、今年度はコロナ感染症の影響を鑑み「学内」研修に切り替え実施しました。学内での実施においても、コロナ対策を慎重に考え、約90名の幼児教育学科の学生を2グループに分け、一方が外部講師による研修、もう一方が、毎年恒例の2年生による夏の実習報告及び1年生による質疑応答を含む報告会を実施しました。外部講師として大分県立美術館（OPAM）の教育普及室長である榎本寿紀さんを招聘し、「身体と感覚の活性化のために」というテーマで、講義と実技を交えながら約1時間に渡って講習を行って頂きました。大きなポリ袋を使った工作など、現場で子ども達にすぐ使える技術を教わり、学生たちも有意義な時間を過ごしている様子でした。また、実習報告会



介護福祉学科 学外研修

2020年10月16日（金）

場所：杵築城下町

介護福祉学科・学外研修として、杵築市のレンタルきもの和楽庵にて学生が着物に着替え城下町杵築の散策を行いました。また、きつき衆楽観でランチを食べ、「劇団双竜」を鑑賞しました。当日は、天候にも恵まれ予定していた全行程を無事に終えることができました。約3時間の舞台では、演出等により引きこまれ「アッ」という間に終演を迎えたという印象でした。多くの学生が、劇団独自の観客を引き込む力に感服することで、演出の大切さを学び、とても有意義な時間になったのではないのでしょうか。また今回は新型コロナウイルス対策でバスを2台に分けての道中でしたが、1・2年次生の交流の機会として、バスの中で「レクリエーション」を行い、今まで以上に学生間の相互理解が図れたようです。今回の経験は、今後、介護福祉士として本学を巣立った後、福祉の現場で、コミュニケーションを図ったりレクリエーションを



第21回 ライフデザイン総合学科 グラフィックデザインコース 卒業制作・学生作品展 2021

ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース、2年生による「第21回グラフィックデザインコース卒業制作・学生作品展2021」が、令和3年2月11日（木）～2月15日（月）の日程で、大分市アートプラザアートホールを会場に開催された。今回は新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施された。グラフィックデザインコースでは、グラフィックデザイナー、DTPデザイナー、



Webデザイナーをめざす学生が、デザイン、DTP、Web、クロスメディア体験学習を通して印刷、出版、広告業界で必要とされるデザインセンスや知識、技術の習得を行っている。今回の展示では、CGに優れたMacを使って制作したコンピュータグラフィックス作品（DTP、デジタルアート、クロスメディアデザイン）、写真、絵画、素描、基礎デザイン、コピー、イラスト、卒業生作品など約200点が展示された。作品には学生それぞれの個性が出ており、500名を超える多くの方々に関心をもち鑑賞していただくことが出来た。今回でグラフィックデザインコースとしての学生作品展は21回目となり、回を重ねるごとに出品点数も増え内容も充実してきた。今後も学生、卒業生の作品発表の場として、さらに充実させていきたい。

第5回イラストデザインコンテスト

入賞者
川邊 詩菜さん
（大分県立津久見高等学校3年）
繁里 歩未さん
（大分県立爽風館高等学校3年）

最優秀賞

ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコースでは、情報時代を求められるデザイナーやクリエイターをめざします。その一環として、豊かで柔軟な発想で自分独自のイメージを表現したオリジナルのイラストを募集しました。第5回のテーマは「希望」。イラストデザインコンテストには多くの高校生、学生から応募があり、素晴らしい感性にあふれた作品が集まりました。受賞者は次の通りです。

最優秀賞

石田 棕子さん
（別府溝部学園短期大学1年）

優秀賞

五所 彩花さん
（大分県立佐藤栄科学高等学校3年）
平野 聖菜さん
（大分県立中津東高等学校3年）



石田 棕子さん



平野 聖菜さん



川邊 詩菜さん



五所 彩花さん

コロナに負けるな、留学生!!

2020年度新たにネパール、インド、スリランカ、ミャンマー、サモアからの留学生が加わり、国籍が中国、ネパール、スリランカ、カメルーン、ベトナム、インド、ミャンマー、サモア、ウガンダの9か国となり、ますます国際色豊かなキャンパスとなった。在籍数は96人。現在、介護福祉学科、食物栄養学科、ライフデザイン総合学科に所属し、それぞれの目標や夢に向かって、日々勉学に励み、専門性を高めている。2020年度は世界中で新型コロナウイルスの感染が広まり、留学生の中には、一時帰国を取りやめるもの、アルバイトがなくなるもの、就職活動が思うように進まないものもいた。また学園行事や国際交流イベントも軒並み中止となり、我慢の1年となった。しかし、2020年6月26日「別府中央ロータリークラブ」による特別支援、2020年7月18日「別府法人会」による食糧支援、2020年6月3日、7月1日、8月5日の3回にわたる別府市「学生エールプロジェクト」による食糧支援、大分県からの特別奨学金など、多くの方々に支えられた1年にもなった。

授業では、春学期にオンライン授業が始まった。開始当初は画面越しでの授業に戸惑うものもいたが、慣れてくると、教室での授業と変わらない元気な声と笑顔が溢れた。ミャンマーからの留学生5人は、当初3月に入国の予定だったが、政府の入国制限を受け、10月ようやく入国、成田空港から2日間かけて別府市まで来た。2週間の自宅待機後、11月から登校をし、大分県で介護福祉士になるために、現在日本語能力の向上と、介護の知識・技術の修得に励んでいる。2021年も介護、観光、食物栄養のプロジェクトを目標として、国内外から多くの留学生が別府溝部学園短期大学へ入学する。

「特定技能ビザ」「外食」「分野」「宿泊」分野それぞれの試験に合格をしたもの、2020年度第2回日本留学試験で357点の高得点を出したものと、それぞれの夢に一歩ずつ着実に近づいている。コロナ禍で先が見えない不安もあると思うが、希望や夢を見失うことなく、家族や友人、支えてくれている多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、別府溝部学園短期大学で「成長」という大きな花を咲かせてほしい。



ミャンマーからの留学生と溝部佳子介護福祉学科長



2020年6月26日「別府中央ロータリークラブによる特別支援」



2020年7月18日「別府法人会による食糧支援」

キャンパスに咲いた若人の記録

年間行事 Campus schedule

春学期



就職ガイダンス



第15回読書感想文コンクール
春学期定期試験
幼児教育学科保育園実習(2年次生)



幼児教育学科幼稚園実習
食栄学外研修、幼教学外研修



介護福祉学科ふくし・ふれ愛ひろば
就職ガイダンス
食物栄養学科お弁当コンテスト



4

春学期開講
入学式 中止
オリエンテーション



5

6

姫山祭(学園祭)
中止

7

8

9

10

11

12

1

2

3

ライフデザイン総合学科科学外実習
食物栄養学科医療秘書実務実習
食物栄養学科給食実習
幼児教育学科保育園・施設実習(2年次生)
介護福祉学科介護実習(2年次生)



秋学期

秋学期開講
頒徳式
スポーツ大会



幼児教育学科
ミュージックカーニバル
(ホルトホール・ビーコンプラザ)延期
総合表現発表会
防災訓練

姫山会役員選挙
食物栄養学科卒業研究発表会
幼児教育学科卒業研究発表会
介護福祉学科卒業研究発表会
就職ガイダンス
ライフデザイン総合学科
医療事務コース卒業研究発表会



ライフデザイン総合学科ファッション
ブライダルコースファッションショー
秋学期閉講
ライフデザイン総合学科グラフィック
デザインコース卒業制作・学生作品展
幼児教育学科基礎実習(1年次生)



卒業式

あ
と
が
き

本校は今年学園創立75周年を迎えこれまでご支援・ご協力下さった方々に感謝し、新たな一歩を歩んできた。今年は新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、日本も緊急事態宣言が発出、現在も厳しい状況下にある。中でもしっかりと学び歩んできた皆さんに心からのお祝いを申し上げます。今後とも、検温、マスクの着用、消毒、手洗いうがいを徹底し、三密を避ける生活を続けて下さい。(コロナ対策)卒業生のみならずには、本学で取得した資格、知識、技術を用いて一歩一歩進んでほしい。本学での2年間を糧にさらなる飛躍を願う。

発行 別府溝部学園短期大学
大分県別府市亀川中央町
電話表〇九七六六〇三三四
写真こ ん ぱ す
印刷(株)電子印刷センター